

配布先：文部科学省、科学記者会、松本市政記者会、長野市政記者会

2021年5月13日

報道機関 各位

国立大学法人信州大学

日本の自閉スペクトラム症の累積発生率は5歳で2.75%

—全国の診療データベースを用いた大規模疫学調査—

【研究成果のポイント】

●全国の診療データベースを用いた解析により、2009-2014年度に出生した子どもの自閉スペクトラム症の累積発生率が5歳で約2.75%であることを明らかにしました。

【概要】

信州大学医学部子どものこころの発達医学教室・精神医学教室の篠山大明准教授、本田秀夫教授らの研究グループは、全国の診療データベース（National Database [NDB]）を用いて、日本における自閉スペクトラム症診断の実態を調査しました。その結果、2009—2014年度に出生した子どもの自閉スペクトラム症の累積発生率が5歳で約2.75%であることを明らかにしました。さらに、累積発生率は出生年度ごとに増加傾向を示し、地域差もみられることが報告されました。

この累積発生率は、医療的診断に基づく自閉スペクトラム症の発生率としては世界的に見て高い数値であり、日本における診断感度の高さを示唆しています。本研究成果は医学専門誌であるJAMA Network Openに2021年5月4日にオンライン掲載されました。

【背景】

最近20年間で自閉スペクトラム症と診断される人の割合が世界的に増加しており、2014年の米国の調査では8歳児での有病率は1.68%であったと報告されています。さらに、信州大学医学部子どものこころの発達医学教室・精神医学教室による地域コホート研究では就学年齢までに3.1%の子どもが自閉スペクトラム症と診断されていたことが報告されています。自閉スペクトラム症と診断される人が増えている主な理由の1つとしてスクリーニング精度の向上があげられます。本研究では日本における自閉スペクトラム症診断の実態を調査するため、全国の医療データを集約したNDBを用いて、自閉スペクトラム症の全国的な累積発生率および都道府県別の累積発生率の調査を行いました。

【研究手法・成果】

2009—2016年度に出生し、2009—2019年度に自閉スペクトラム症と診断された児童について、性別、診断時の年度および年齢、診断を受けた医療機関の所在都道府県名に関する情報をNDBから抽出しました。累積発生率は、診断数を各年の出生数で割ることによって計算しました。

2009—2016年度に出生した子どものうち、313,353名（男児236,386名、女児76,967名）が2009—2019年度に自閉スペクトラム症と診断されました。2009—2014年度に出生した子ども

の5歳時における自閉スペクトラム症の生涯累積発生率は2.75%でした。累積発生率は、出生年度ごとに増加している傾向を認めました。都道府県別に見ると、5歳時における自閉スペクトラム症の生涯累積発生率は0.9–7.9%（中央値2.4%）と幅がありました。

【波及効果・今後の予定】

本研究は、日本における自閉スペクトラム症の累積発生率が世界的に見て高いことを報告しました。全国的な増加傾向には、近年の自閉スペクトラム症の認知度の高まりが影響していると考えられます。一方で発生率の地域差が大きいことから、医療や支援へのアクセスの違いなどの要因も発生率に影響を与えている可能性が考えられます。本研究の結果は、自閉スペクトラム症の支援体制を構築することの必要性が増していることを示します。自閉スペクトラム症の頻度の変化を正確に捉えることは、有効な支援体制の実現のためにも、自閉スペクトラム症の危険因子や病因を研究する上でも重要なことです。引き続き、自閉スペクトラム症の発生率の動向を調査していく予定です。

【論文タイトルと著者】

タイトル：Trends in Autism Spectrum Disorder Diagnoses in Japan, 2009 to 2019

著者：Daimei Sasayama・Rie Kuge・Yuki Toibana・Hideo Honda

掲載誌：JAMA Network Open

<URL> <https://jamanetwork.com/journals/jamanetworkopen/fullarticle/2779443>

【問い合わせ先】

〈研究内容に関する問い合わせ先〉

信州大学医学部子どものこころの発達医学教室 / 精神医学教室

准教授 篠山 大明

Tel: 0263-37-2638 Fax:0263-36-1772

〈報道に関する問い合わせ先〉

国立大学法人信州大学 総務部総務課広報室

Tel: 0263-37-3056 Fax:0263-37-2188